

## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 蛇の目マシン工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6445 URL <https://www.janome.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 真  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小林 裕幸 (TEL) 042-661-3071  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	21,248	22.8	2,366	646.0	2,398	788.9	2,015	—
2020年3月期第2四半期	17,301	△9.8	317	△30.8	269	△58.0	60	△83.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,310百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △322百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	104.25	—
2020年3月期第2四半期	3.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	50,863	27,367	52.1
2020年3月期	49,360	25,381	49.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 26,513百万円 2020年3月期 24,550百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	12.6	3,800	228.0	3,600	243.0	2,600	513.0	134.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	19,521,444株	2020年3月期	19,521,444株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	190,003株	2020年3月期	189,999株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	19,331,443株	2020年3月期2Q	19,331,544株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルスの世界的な大流行により、国内外の景気は依然として厳しい状況が続きました。一方で、感染者数の減少や検査体制の拡充などにより、先進国を中心に感染対策と経済活動の両立を目指す動きが強まりました。しかしながら、欧州では再び外出制限が強化されるなど、感染再拡大への懸念も高まっています。

このような中、当社グループにおきましては、巣ごもり需要によるミシン受注の増加に対応すべく、徹底した感染対策をとりながら、従業員の安全確保を図り、生産体制を強化することで、安定的な事業を継続してまいりました。

この結果、当第2四半期の売上高は21,248百万円（前年同期比3,946百万円増）、営業利益は2,366百万円（前年同期比2,049百万円増）、経常利益は2,398百万円（前年同期比2,128百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,015百万円（前年同期比1,954百万円増）となりました。

セグメント別の概要は、次のとおりであります。

#### <家庭用機器事業>

家庭用機器事業におきましては、各国において外出規制・自粛要請等が続き、日常の生活様式も変わる中、ミシンの需要は依然として高く、国内外において販売台数を伸ばしました。このような中、海外生産拠点である台湾・タイで生産体制を強化するなど、ミシンを必要とするお客様に迅速にお届けできるようグループ一丸となって取り組みました。また、このミシン販売の広がりをソーイング文化の浸透・定着に繋げるべく、SNS等を活用した情報発信に注力し、当社製品や手作りの楽しさなどを幅広い層に積極的にアピールいたしました。

この結果、海外・国内ミシンの販売台数は86万台（前年同期比21万台増）、家庭用機器事業全体の売上高は17,640百万円（前年同期比4,611百万円増）、営業利益は2,502百万円（前年同期比2,080百万円増）となりました。

#### <産業機器事業>

産業機器事業におきましては、オンラインでの商談やWeb展示会の開催などITを駆使した営業活動を積極的に推進いたしました。しかしながら、国内や欧州、北米などは依然として設備投資を抑制する動きとなり、中国では回復傾向が見られるものの市場全体としては低迷し、卓上ロボット・サーボプレスの販売に加え、ダイカスト鑄造関連事業においても苦戦が続きました。

その結果、産業機器事業全体の売上高は2,230百万円（前年同期比695百万円減）、営業損失は213百万円（前年同期は209百万円の営業損失）となりました。

#### <IT関連事業>

ITソフトウェア開発や情報処理サービス、システム運用管理の受託等を行うIT関連事業の売上高は1,056百万円（前年同期比49百万円増）、営業利益は77百万円（前年同期比28百万円減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は50,863百万円（前連結会計年度末比1,503百万円増）となりました。

資産の部では、流動資産が現金及び預金の増加等により24,255百万円（前連結会計年度末比2,177百万円増）となりました。固定資産は有形及び無形固定資産の減価償却等により26,607百万円（前連結会計年度末比673百万円減）となりました。

負債の部は、流動負債が短期借入金の減少等により15,195百万円（前連結会計年度末比364百万円減）となり、固定負債はリース債務の減少等により8,300百万円（前連結会計年度末比119百万円減）となりました。

純資産の部は、利益剰余金の増加等により27,367百万円（前連結会計年度末比1,986百万円増）となりました。

### [キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から2,665百万円増加し、9,152百万円（前年同期比3,413百万円増）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,452百万円、売上債権の減少595百万円、仕入債務の増加440百万円、たな卸資産の減少375百万円などによる資金の増減があり、4,950百万円の資金の増加（前年同期は646百万円の資金の減少）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出649百万円、有形固定資産の売却による収入489百万円などにより、385百万円の資金の減少（前年同期は392百万円の資金の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少1,559百万円などにより、1,972百万円の資金の減少（前年同期は812百万円の資金の増加）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間における業績の動向を踏まえ、2020年8月7日に公表いたしました2021年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,886	10,012
受取手形及び売掛金	6,650	6,076
商品及び製品	4,934	4,451
仕掛品	594	773
原材料及び貯蔵品	2,727	2,719
その他	506	448
貸倒引当金	△221	△226
流動資産合計	22,078	24,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,818	5,611
土地	14,374	14,030
その他（純額）	2,502	2,323
有形固定資産合計	22,696	21,964
無形固定資産		
その他	849	803
無形固定資産合計	849	803
投資その他の資産	3,735	3,838
固定資産合計	27,281	26,607
資産合計	49,360	50,863

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,084	2,529
短期借入金	10,575	8,852
未払法人税等	243	404
賞与引当金	508	694
その他	2,147	2,713
流動負債合計	15,559	15,195
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	3,420	3,414
退職給付に係る負債	4,052	4,043
その他	946	842
固定負債合計	8,419	8,300
負債合計	23,979	23,495
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,372	11,372
利益剰余金	7,967	9,619
自己株式	△325	△325
株主資本合計	19,015	20,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54	94
土地再評価差額金	6,630	6,703
為替換算調整勘定	△927	△781
退職給付に係る調整累計額	△222	△171
その他の包括利益累計額合計	5,534	5,845
非支配株主持分	831	854
純資産合計	25,381	27,367
負債純資産合計	49,360	50,863

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	17,301	21,248
売上原価	10,329	12,087
売上総利益	6,971	9,160
販売費及び一般管理費	6,654	6,793
営業利益	317	2,366
営業外収益		
受取利息	10	3
受取配当金	42	30
その他	65	70
営業外収益合計	118	105
営業外費用		
支払利息	48	41
資金調達費用	53	5
為替差損	52	8
その他	12	18
営業外費用合計	166	73
経常利益	269	2,398
特別利益		
固定資産売却益	0	86
特別利益合計	0	86
特別損失		
固定資産除売却損	0	32
特別損失合計	0	32
税金等調整前四半期純利益	269	2,452
法人税、住民税及び事業税	216	472
法人税等調整額	6	△112
法人税等合計	223	359
四半期純利益	46	2,092
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14	77
親会社株主に帰属する四半期純利益	60	2,015



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	46	2,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	40
為替換算調整勘定	△421	126
退職給付に係る調整額	61	51
その他の包括利益合計	△368	217
四半期包括利益	△322	2,310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△328	2,252
非支配株主に係る四半期包括利益	6	57

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	269	2,452
減価償却費	675	571
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△68	△78
受取利息及び受取配当金	△52	△34
支払利息	48	41
売上債権の増減額 (△は増加)	△181	595
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△235	375
仕入債務の増減額 (△は減少)	△616	440
その他	△220	875
小計	△382	5,238
利息及び配当金の受取額	56	38
利息の支払額	△48	△41
法人税等の支払額	△271	△284
営業活動によるキャッシュ・フロー	△646	4,950
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△188	△649
定期預金の払戻による収入	261	17
有形固定資産の取得による支出	△377	△163
有形固定資産の売却による収入	3	489
その他	△90	△79
投資活動によるキャッシュ・フロー	△392	△385
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,289	△1,559
配当金の支払額	△286	△288
その他	△190	△123
財務活動によるキャッシュ・フロー	812	△1,972
現金及び現金同等物に係る換算差額	△126	72
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△352	2,665
現金及び現金同等物の期首残高	6,091	6,487
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,739	9,152

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,029	2,926	1,006	16,961	339	17,301
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	268	225	511	179	691
計	13,045	3,195	1,232	17,473	519	17,992
セグメント利益又は損失(△)	421	△209	105	317	△16	301

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	317
「その他」の区分の損失(△)	△16
セグメント間取引消去	16
四半期連結損益計算書の営業利益	317

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,640	2,230	1,056	20,927	320	21,248
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	328	209	552	177	729
計	17,654	2,559	1,266	21,480	497	21,978
セグメント利益又は損失(△)	2,502	△213	77	2,366	△1	2,365

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,366
「その他」の区分の損失(△)	△1
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益計算書の営業利益	2,366